

《巻頭言》

禁煙活動の組織化 —くまもと禁煙推進フォーラム—

熊本市民病院 診療部長・神経内科部長・地域医療連携部長・リハビリテーション科部長
NPO 法人日本禁煙学会 評議員、くまもと禁煙推進フォーラム 代表

橋本洋一郎

たかの呼吸器科内科クリニック 院長、NPO 法人日本禁煙学会 評議員
くまもと禁煙推進フォーラム 副代表

高野義久

1. くまもと禁煙推進フォーラムの設立

病気で苦しむ患者さんを診るにつけ、“予防に勝る 治療なし”だと確信する。禁煙は病気の予防や治療に必須であるが、熊本では禁煙に必要な環境作りや正しい禁煙法が普及してこなかった。また、全国有数の葉タバコの産地という禁煙には厳しい背景もあり、個人での活動には限界があった。個々の活動が結集することによって力となり、大きな流れを創ることができると考え、2009年2月11日に5名の有志で準備会合を開催した。5月に禁煙の社会活動を行う「くまもと禁煙推進フォーラム」を設立した。

同フォーラムを立ち上げた2009年は、熊本県の公立小中高等学校の敷地内禁煙化率は全国最低の18%、禁煙外来設置率も全国最低の6%、葉タバコ生産は宮崎県を抜いて第一位となった。①科学的データに基づいたタバコ情報の提供、②社会の禁煙化の推進、③受動喫煙のない社会環境の整備により、受動喫煙の害の撲滅、未成年者の喫煙防止、禁煙希望者が禁煙しやすい環境の整備を目的とした社会的活動を行う市民団体として、「キツエンからキンエンに」、「学校こそ まず禁煙」をスローガンに活動を開始した。

2. 各種の活動

ホームページ開設 (<http://square.umin.ac.jp/nosmoke/>)、ロゴの作成、「敷地内禁煙と禁煙外来実践の要点」(409頁、2010年5月、崇城大学出版センター自費出版、非売品、ホームページに掲載)の発刊、禁煙の市民公開講座の開催、防煙授業・講演(4万名を越える受講者)、各種アンケー



図1 スモークフリー・ウォーク
(2012年6月3日、辛島公園にて)

くまモンとすわんけん(2013年6月9日、第13回全国禁煙推進研究会 2013 熊本フォーラム)

ト調査、禁煙戦隊ソツエンジャー、缶バッジ、禁煙Tシャツ・ウィンドブレーカー・のぼり、禁煙カルタ、禁煙マンガ、禁煙ソングの作成などを行ってきた。ホームページでは現場ですぐに使える“禁煙資料館”を公開している。

保守的でタバコが大きな産業である熊本県での禁煙活動は、壁にぶつかることばかりだが、多くの仲間(現在約200名)と一緒にコツコツと活動を続けている。2010年には禁煙の市民公開講座、2011年には脳卒中リスク無料検査イベントを各種団体と共催で行った。2012年には“スモークフリー・ウォーク”を下通とサンロード新市街で約250名のメンバーで行った(図1)。

また禁煙外来を増やすために“くまもと禁煙支援研究会”を立ち上げて、各地の医師会との共催で

講演会を熊本県内各地で行い、禁煙外来設置率は全国最下位から32位まで上がってきている(施設数が4年間で倍増)。

3. 第13回全国禁煙推進研究会

2013年には、“第13回全国禁煙推進研究会 2013熊本フォーラム”を6月9日(日)に熊本県民交流館パレアで開催した(熊本県医師会長の福田 稔先生が大会長)。過去の開催では市や県の共催が通例であったが、熊本市や熊本県の共催が得られないという事態で開催をしなければならなくなった。図1のくまモンの隣は、熊本フォーラム開催に合わせて作成したマスコットキャラクター“すわんけん”(熊本弁で“吸わないから”を表現)である。中村正和先生や大和 浩先生、さらに幸山政史熊本市長の講演など充実した内容で開催できた(ホームページ参照)。

4. 今後の展望

くまもと禁煙推進フォーラムの活動が厚生労働省に評価され、2013年11月に第2回「健康寿命をのばそう!アワード」において厚生労働省健康局長優良賞を受賞した(図2)。当初5名で細々と開始した活動が社会にうねりを作ることができた要因として、①ボランティア活動であり強制ではない、②禁煙推進の必要性を認識するメンバーで構成され、互いに理解と協調の精神をもって明るく活動している、③会員の活動のために必要なスライドやパンフレット、実験道具などを提供している、④市民との交流に必要なオリジナルグッズを作成し使用している、⑤県内の保健医療団体に対し積極的にアプローチしている、⑥医療系の講演



図2 第2回「健康寿命をのばそう!アワード」表彰状

会においては様々な情報を含むCDを作成し提供している、⑦活動を組織化し、役割分担をしながら、as much as possible(熊本弁で“できるしこ”)の精神で活動しているなどがあげられる。

「禁煙・減塩・減量」、「1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ」などを県民に浸透させ、脳卒中・循環器疾患・呼吸器疾患・がん予防のモデルの県にもしていきたいと願っている。今後も会員を増やし、活動の輪をさらに広げていきたい。日本で開催されたAPACTへの熊本からの参加は4名のみであった。もっと全国規模の会への会員の参加が課題である。

2015年には、第9回日本禁煙学会総会を熊本市で主催させて頂くことになった。くまもと禁煙推進フォーラムの歴史は浅く組織としては脆弱だが、それまでにより強固な組織にしていきたい。今までの熊本の活動では全国の日本禁煙学会の皆様のお陰様で着実にぶれることなく行えたと思う。学会開催に向けてさらなるご指導ご鞭撻をお願いしたい。